

参加無料・事前登録要

間文化現象学研究センター
若手ワークショップ

ナンシー 『無為の共同体』 の複層性

【日時】

2025年5月24日（土）15:00~18:00

【場所】 ハイブリッド

対面：立命館大学 衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館 カンファレンスルーム

オンライン：ZOOM

◆オンライン参加の方は以下より事前登録してください。



[HTTPS://RITSUMEI-AC-JP.ZOOM.US/MEETING/REGISTER/CMVU-XB2QYCTMXJS1ZORYQ](https://ritsumeai-ac-jp.zoom.us/meeting/register/cmvu-xb2qyctmxjs1zoryq)

【登壇者】

小田麟太郎（日本学術振興会特別研究員PD・立命館大学）

若杉直人（立命館大学大学院文学研究科博士後期課程）

砂川優斗（立命館大学大学院文学研究科博士前期課程）

司会・亀井大輔（立命館大学文学部教授）

【趣旨】

1986年に刊行された『無為の共同体』は、ジャン＝リュック・ナンシーを共同体論の思想家として世に知らしめた。以後、ブランショをはじめフランス国内外の哲学者が共同体論を執筆し、共同体をめぐる問いは今なお効力を保持している。しかし、刊行され40年が経とうとしている今、ナンシーの哲学が共同体だけでなく様々なテーマに広がっていることは明らかであり、『無為の共同体』についても共同体だけでなく主体や神話、人間といったナンシーの他の主要概念への射程を有しているように思われる。本ワークショップでは、こういった『無為の共同体』の複層性に注目し、その多様な次元を明らかにする。

【プログラム】

15:00~15:10 趣旨説明

15:10~15:40 小田麟太郎「あえて黙ることと過剰な語り

——ジャン＝リュック・ナンシーにおける神話の途絶とフィクション——」

15:40~16:10 砂川優斗「限界としての人間

——人間をモチーフとした『無為の共同体』読解——」

16:10~16:20 休憩

16:20~16:50 若杉直人「感染する主体

——『無為の共同体』におけるナンシーのバタイユ読解から出発して——」

16:50~17:20 登壇者同士での議論

17:20~18:00 フロアに開いての議論

【共催】立命館大学・間文化現象学研究センター／立命館大学・人文科学研究所重点プログラム「現代における間文化現象学の展開」／脱構築研究会